

# 整形外科研修

## ◇ 研修目標および特徴

1. 医師として研修を行う礎として社会人としての常識を身につける。
2. 医師としての責任を自覚し、「思いやりの心」を持つこと
3. 整形外科が対象としている疾患は何かを把握し、整形外科医としての一般の基礎技術（診断・治療）を身につけると共に、その人が有している疾病や障害を総合的に評価できること。
4. 整形外科の対象疾患は多岐に渡るため、様々な専門分野がある。当院では、関節外科（主に人工関節）、スポーツ整形外科、脊椎外科、手の外科、リウマチの専門分野を設け各分野での高度医療を実践しており、それを経験してもらう。

## ◇ 研修内容

### 1. ローテート方式

2ヶ月間（最長10ヶ月間）の研修期間とする。整形外科が対象としている運動器疾患（例：骨折、変形性関節症など）は多彩であるため、他科を将来希望している医師においては、基礎技術（診断や検査など）を主に習得してもらい、整形外科を専門家として希望する医師においては、一般的な整形外科分野だけでなく、専門性の高い分野にも触れ、将来の進路の参考にする。

### 2. 整形外科研修内容

外来見学を通して、整形外科一般の診察（診断・治療の組み立て方など）を修練し、それぞれの主治医とともに一人一人の患者について病棟での受け持ちを行い、手術にも助手として積極的に加わる。専門外来にも参加するかたわら、症例検討会、集談会などに自分の関連した症例を発表する。

外来：一般整形外科や外傷・専門外来を見学し、診断技術を身につける。特に専門外来において、整形外科特殊診断法の指導をうける。

手術：自分が受け持った患者を中心に手術に参加し、整形外科の基本手技を身につける。

病棟：カルテ記録、整形外科スタッフについて病歴の聴取・診察法・検査の手続き・患者さんへの説明・手術準備・注射・創処置などの指導を受ける。

## ◇ 指導スタッフ(卒業年度、日本整形外科学会専門医)

整形外科主任部長	：岩崎幹季	（昭和 60 年卒、専門医）
リハビリテーション科部長	：夏梅隆至	（平成 2 年卒、専門医）
脊椎外科部長	：奥田真也	（平成 5 年卒、専門医）
手外科部長	：遠山雅彦	（平成 3 年卒、専門医）

スポーツ整形外科部長：田中美成（平成 7 年卒、専門医）  
 関節外科部長：中川 滋（平成 8 年卒、専門医）  
 リウマチ科部長：坪井秀規（平成 7 年卒、専門医）  
 股関節外科部長：山村在慶（平成 10 年卒、専門医）

### 診療実績（年間）、診療設備

一般整形外科外来の他に、専門外来（関節外科、スポーツ整形外科、脊椎外科、手外科、リウマチ）を設け、外科的治療（年間手術件数：約 1700 件）を中心に、より専門性を有する高度医療を実践している。診療設備として各種画像診断法（CT、MRI、シンチ、エコーなど）に加え、クリーンルーム、手術用顕微鏡、関節鏡、筋電図、アスレチックトレーニング機器を有する。

### ◇ 週間スケジュール

曜日	AM	PM
月	抄読会・症例検討会 手術/病棟	手術/病棟
火	部長回診 手術/病棟	手術/病棟
水	手術/病棟	手術/病棟 術前カンファレンス 研修医向け講義・実技
木	脊椎外科回診 手術/病棟 関節外科回診（クリニックごと）	手術/病棟 脊髄腔造影検査・神経根ブロック
金	スポーツ抄読会・回診 手術/病棟	手術/病棟 脊髄腔造影検査・脊椎症例検討会

外来：AM8:30-

手術：毎日（週 2 2 単位）AM8:30-PM4:10

### ◇ 専門医、認定医、教育病院など学会の指定状況

日本整形外科学会、日本リウマチ学会、日本手外科学会基幹研修施設、日本リハビリテーション医学会